

## 第42回日本ITU協会賞 「功績賞」「国際活動奨励賞」を受賞

2014年5月17日に開催された「第46回世界情報社会・電気通信日のつどい」において、ドコモ・テクノロジー株式会社の荒木 正治氏、ネットワーク開発部の興水 敬氏は、日本ITU協会賞「功績賞」を受賞しました。功績賞は、世界情報社会サミットにおける基本宣言および行動計画の実現を含むITUの活動または我が国のITU諸活動に貢献し、その他情報通信および放送の発展に寄与し、その功績が著しい方に贈られます。

また、ネットワーク開発部の巳之口 淳氏、無線アクセス開発部の陳 嵐氏は、日本ITU協会賞「国際活動奨励賞」を受賞しました。国際活動奨励賞は、ITUならびに関連する諸活動にすでに参加し、今後これらの領域において継続して寄与することが期待される方に贈られます。

荒木氏は、1987年からITU-R (International Telecommunication Union-Radio communication sector) 活動に携わり、5GHz帯無線LAN新規分配関連勧告、固定業務共用基準と方式パラメータ関連勧告の取りまとめなどに貢献しました。さらに、2008年からは、セクタアンテナ\*1基準パターン勧告の改訂に大きく貢献しました。長年のITU-R活動で旧SG (Study Group)9, 現SG5作業部会など、多くの会合に出席し、日本代表・関連作業グループ議長として固定業務共用基準勧告、固定・移動基地局アンテナ参照パターン勧告の採択に多大の成果を挙げたことが評価され、「功績賞」を受賞しました。

興水氏は、ITU-T (International Telecommunication Union-Telecommunication) SG11信号方式の標準化、3GPPアクセスIFやSAE (System Architecture Evolution)\*2/EPC (Evolved Packet Core)\*3標準の完成に大きく貢献しました。また、TTC (Telecommunication Technology Committee) 3GPP専門委員会委員長 (現職)、3GPP TSG-SA (Technical Specification Group-Service and System Aspects) 副議長職を歴任することで3G以降の移動通信網の発展と実用化に著しく寄与しました。このように一貫して移動通信網の標準化に従事し、3GやLTEおよびVoLTE (Voice

over LTE) などの必須機能の国内外標準化を牽引し、SA副議長、3GPP専門委員会議長なども務め長年にわたり標準化と技術検討に邁進したことが評価され、「功績賞」を受賞しました。

巳之口氏は、移動通信システムコアネットワークにおけるサービス要求条件・アーキテクチャの専門家として、ITU-T、3GPPにおける国際標準化活動、欧州プロジェクトへ参画し、オペレータ団体での国際協調を2001年より継続的に実施することにより、技術／運営の両面で寄与してきました。ITU-Tにおいては移動通信ネットワークの長期ビジョン策定に、3GPPにおいてはLTEコアネットワークの高機能化に関する仕様策定に大きく貢献し、今後も当該分野における活躍が見込まれます。このことから、「国際活動奨励賞」を受賞しました。

陳氏は、3GPPにおいて、LTE/LTE-Advancedにおける多くの技術提案を行うとともに議論をリードし、仕様策定に大きく貢献しました。また、IEEE 802.11v\*4において、技術提案を行うことで仕様策定に貢献しました。さらに、中国の研究フォーラム (FuTURE) におけるワーキンググループの副議長などを務め、日中の政府機関、大学、および企業間における移動通信技術の交流促進を図るとともに、標準化、および将来の方向性に関する両国のコンセンサス作りに多大な貢献を行いました。このように3GPPにおいて、LTEシステムに関する標準化活動を中心に従事し、世界各国で導入が進むLTEに対する高度化技術の仕様策定に大きく貢献しており、今後も継続的な寄与と貢献が期待されることから、「国際活動奨励賞」を受賞したものです。

- 
- \*1 セクタアンテナ：セクタ化された基地局において、隣接するセクタ間の干渉を低減するために用いられる指向性を有するアンテナ。
  - \*2 SAE：3GPPで検討が進められている、evolved GSMコアネットワークの発展系列の作業名称。E-UTRANの収容を対象とし、さらにすべてのサービスをIP上で実現することを前提としている。SAEにて検討された仕様はEPCと呼ばれる。
  - \*3 EPC：LTEおよび他のアクセス技術向けに3GPPで規定された、IPベースのコアネットワーク。
  - \*4 IEEE 802.11v：無線LANの無線区間管理方式の拡張にかかわる国際標準規格。